

令和3年度

当初予算の概要

(特別会計)

— 淡路市 —

# 目 次

## 「令和3年度 当初予算の概要(特別会計)」

	頁
1 国民健康保険特別会計 . . . . .	23
2 後期高齢者医療特別会計 . . . . .	27
3 介護保険特別会計 . . . . .	28
4 産地直売所事業特別会計 . . . . .	30
5 温泉事業特別会計 . . . . .	32
6 津名港ターミナル事業特別会計 . . . . .	33
7 住宅用地造成事業等特別会計 . . . . .	35

# 国民健康保険特別会計(事業勘定・直営診療施設勘定)

## 1 概 要

国民健康保険制度改革に伴い、平成30年度から都道府県が市町村とともに国民健康保険の運営を担い、財政運営の責任主体として、安定的な財政運営や効率的な事業の確保など、中心的な役割を担うことにより、国民健康保険制度の安定化が図られている。

特徴は次のとおり。

- ①新型コロナウイルス感染症による所得への影響が見込めないため、現在の税率に据え置く。
  - ②市の保険給付費に要した費用は、県が普通交付金として全額を補填する。
  - ③市は、県が所得水準を考慮し算定した国民健康保険事業費納付金を納付する。
  - ④保険者努力支援制度等の財源を活用し、医療費適正化対策事業を実施。健康寿命の延伸による中長期的な医療費の抑制を図ると共に、収納率の向上、特定健診受診率の向上に努め、安定した国保運営を目指す。
- 直営診療施設では、西浦地域の医療の核として、地域に密着した、質の高い医療の提供を目指す。

## 2 予 算 額(事業勘定)

(総 額)

(単位:千円、%)

令和3年度当初 (A)	令和2年度当初 (B)	増 減 額 (A) - (B)	対前年度比 (A) / (B)
5,602,000	6,211,400	▲ 609,400	90.2

(歳 入)

(単位:千円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減額	前年比
1 国民健康保険税	1,151,890	1,197,580	▲ 45,690	96.2
2 一部負担金	2	2	0	100.0
3 使用料及び手数料	600	500	100	120.0
4 県支出金	3,873,984	4,437,163	▲ 563,179	87.3
5 財産収入	959	553	406	173.4
6 繰入金	557,140	552,424	4,716	100.9
7 繰越金	1	1	0	100.0
8 諸収入	17,424	16,025	1,399	108.7
国庫支出金	0	7,152	▲ 7,152	皆減
<b>歳 入 合 計</b>	<b>5,602,000</b>	<b>6,211,400</b>	<b>▲ 609,400</b>	<b>90.2</b>

(歳 出)

(単位:千円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減額	前年比
1 総務費	21,593	25,444	▲ 3,851	84.9
2 保険給付費	3,705,161	4,271,726	▲ 566,565	86.7
3 国民健康保険事業費納付金	1,793,211	1,834,473	▲ 41,262	97.8
4 保健事業費	64,672	62,801	1,871	103.0
5 基金積立金	960	553	407	173.6
6 公債費	100	100	0	100.0
7 諸支出金	6,303	6,303	0	100.0
8 予備費	10,000	10,000	0	100.0
<b>歳 出 合 計</b>	<b>5,602,000</b>	<b>6,211,400</b>	<b>▲ 609,400</b>	<b>90.2</b>

## 2 予 算 額(直営診療施設勘定)

(総 額)

(単位:千円、%)

令和3年度当初 (A)	令和2年度当初 (B)	増 減 額 (A)－(B)	対前年度比 (A)／(B)
132,400	144,500	▲ 12,100	91.6

(歳 入)

(単位:千円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減額	前年比
1 診療報酬	105,800	107,070	▲ 1,270	98.8
2 使用料及び手数料	1,431	1,250	181	114.5
3 繰入金	24,378	34,574	▲ 10,196	70.5
4 繰越金	1	1	0	100.0
5 諸収入	790	271	519	291.5
県支出金	0	1,334	▲ 1,334	皆減
<b>歳 入 合 計</b>	<b>132,400</b>	<b>144,500</b>	<b>▲ 12,100</b>	<b>91.6</b>

(歳 出)

(単位:千円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減額	前年比
1 総務費	118,531	126,593	▲ 8,062	93.6
2 医業費	12,869	16,907	▲ 4,038	76.1
3 予備費	1,000	1,000	0	100.0
<b>歳 出 合 計</b>	<b>132,400</b>	<b>144,500</b>	<b>▲ 12,100</b>	<b>91.6</b>

## 3 主 な 事 業

★印は新規事業

(単位:千円)

項 目	内 容	予 算 額
<b>【事業勘定】</b>		
保険給付費	医療機関等での診療に係る給付費等、要した費用については、全額を県が普通交付金として補填。	3,705,161
国民健康保険事業費納付金	県が市の所得水準を考慮し算定。市が徴収した国民健康保険税を医療給付費分、後期高齢者支援分、介護納付金分として県へ納付。	1,793,211
医療費適正化対策事業	医療費の適正化を図るため、療養費の支給に係る点検、ジェネリック医薬品差額及び多剤投与に係る通知を行う。また、健康ポイントを特定健診及び保健指導参加者に付与し、受診率の向上と重症化予防を目指す。	60,629
<b>【直営診療施設勘定】</b>		
事務用設備更新事業	電話設備更新工事	1,200

## 4 その他参考事項

### ○北淡診療所施設概要(淡路市育波480番地5)

(1) 開設年月日 昭和32年5月25日

(2) 開設の目的 地域住民の医療確保及び健康維持管理のため

(3) 診療施設状況

- ・ 建物構造等 延床面積 1548.79㎡ (鉄筋3階建：病床 19床)
- ・ 建設年月日 平成14年度改築
- ・ 設備の状況 処置室、レントゲン室、点滴用ベッド
- ・ 検査機器等 超音波検査、自動心電計、内視鏡ビデオシステム、ホルター心電計、全自動血球計数器、筋電図・誘発電位検査装置、心電図モニター、血液ガス測定器、眼底カメラ、眼科用屈折計、視力検査器等

(4) 医療従事者等数

(令和3年4月予定)

職 種	専 任	臨時・パート等	合計
医 師	1名	2名	3名
看護師	5名	-	5名
事務職	3名	-	3名
レセプト事務	-	3名	3名
レントゲン技師	-	1名	1名

(5) 診療科目 内科・眼科・心療内科・精神科

(6) 診療日時・時間帯

診療曜日	時 間 帯	
月曜日	9:00~12:00	14:00~17:00
火曜日	9:00~12:00	14:00~17:00
水曜日	9:00~12:00	14:00~17:00
木曜日	9:00~12:00	15:00~17:00
金曜日	9:00~12:00	14:00~17:00
土曜日	休 診	休 診
日曜日	休 診	休 診

○仁井診療所施設概要(淡路市仁井65番地)

- (1) 開設年月日 昭和30年3月22日
- (2) 開設の目的 地域住民の医療確保及び健康維持管理のため
- (3) 診療施設状況
- ・ 建物構造等 延床面積 153.05㎡ (木造2階建)
  - ・ 建設年月日 平成7年度改築
  - ・ 設備の状況 処置室、レントゲン室、点滴用ベッド
  - ・ 検査機器等 超音波検査、電動自動間歇牽引機

- (4) 医療従事者等数  
(令和3年4月予定)

職 種	専 任	臨時・パート等	合計
医 師	-	1名	北診兼務
看護師	1名	-	北診兼務
事務職	1名	-	北診兼務
レセプト事務	-	1名	北診兼務
レントゲン技師	-	-	-

- (5) 診療科目 内科

- (6) 診療日時・時間帯

診療曜日	時 間 帯
月曜日	休 診
火曜日	休 診
水曜日	14:00~17:00
木曜日	休 診
金曜日	休 診
土曜日	休 診
日曜日	休 診

# 後期高齢者医療特別会計

## 1 概 要

後期高齢者医療制度は、少子高齢化により、医療費の増大が進むことから、現役世代と高齢者の負担を明確にし、公平でわかりやすい制度とするため、平成20年から始まった医療保険制度で、現役世代が高齢者を支えるとともに、高齢者も保険料と医療費の一部を負担することで、国民皆保険を引き継いでいく支えあいの仕組み。

「75歳以上の方と一定の障害があると認定された65歳以上の方」を対象とし、制度運営は、兵庫県後期高齢者医療広域連合が行い、申請の受付や保険料の徴収などの窓口業務と健康診査は市町が行う。

医療費の負担は、一般は1割、現役並み所得者は3割で、保険料は、被保険者一人ひとりが支払う。

## 2 予 算 額

(総 額)

(単位:千円、%)

令和3年度当初 (A)	令和2年度当初 (B)	増 減 額 (A) - (B)	対前年度比 (A) / (B)
786,400	768,400	18,000	102.3

(歳 入)

(単位:千円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減額	前年比
1 後期高齢者医療保険料	555,435	530,138	25,297	104.8
2 使用料及び手数料	101	101	0	100.0
3 繰入金	223,953	231,659	▲ 7,706	96.7
4 繰越金	1	1	0	100.0
5 諸収入	6,910	6,501	409	106.3
<b>歳 入 合 計</b>	<b>786,400</b>	<b>768,400</b>	<b>18,000</b>	<b>102.3</b>

(歳 出)

(単位:千円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減額	前年比
1 総務費	9,958	9,967	▲ 9	99.9
2 保健事業費	8,613	7,814	799	110.2
3 後期高齢者医療広域連合納付金	765,329	748,119	17,210	102.3
4 諸支出金	1,500	1,500	0	100.0
5 予備費	1,000	1,000	0	100.0
<b>歳 出 合 計</b>	<b>786,400</b>	<b>768,400</b>	<b>18,000</b>	<b>102.3</b>

## 3 主 な 事 業

★印は新規事業

(単位:千円)

項 目	内 容	予 算 額
保険料徴収事業	保険料徴収事務に伴う経費	2,043
被保険者の健康診断事業	まちぐるみ健診等特定健康診査業務費	8,613

# 介護保険特別会計(保険事業勘定・サービス事業勘定)

## 1 概 要

令和3年度は、第8期介護保険事業計画の初年度であり、介護保険の制度改正やこれまでの事業実績等を踏まえながら、介護保険事業の円滑な実施をめざして予算編成を行った。

令和3年度介護保険特別会計歳入歳出予算の総額は、52億6,680万円で、前年度と比べ3,380万円の減額となっている。

主な事業は、要介護(要支援)の方が介護サービスを利用するための保険給付費、介護予防・生活支援サービス事業費やいきいき100歳体操などの一般介護予防事業、包括的支援事業として、認知症施策推進事業や地域包括支援センターの運営等で、高齢者が介護が必要となっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域包括ケアシステムの深化・推進を図る。

## 2 予 算 額(保険事業勘定)

(総 額)

(単位:千円、%)

令和3年度当初 (A)	令和2年度当初 (B)	増 減 額 (A) - (B)	対前年度比 (A) / (B)
5,266,800	5,300,600	▲ 33,800	99.4

(歳 入)

(単位:千円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減額	前年比
1 保険料	986,600	1,031,000	▲ 44,400	95.7
2 使用料及び手数料	51	51	0	100.0
3 国庫支出金	1,333,923	1,342,766	▲ 8,843	99.3
4 支払基金交付金	1,370,084	1,383,545	▲ 13,461	99.0
5 県支出金	763,463	769,444	▲ 5,981	99.2
6 財産収入	505	455	50	111.0
7 繰入金	811,773	772,868	38,905	105.0
8 繰越金	1	1	0	100.0
9 諸収入	400	470	▲ 70	85.1
<b>歳 入 合 計</b>	<b>5,266,800</b>	<b>5,300,600</b>	<b>▲ 33,800</b>	<b>99.4</b>

(歳 出)

(単位:千円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減額	前年比
1 総務費	73,063	62,162	10,901	117.5
2 保険給付費	4,987,780	5,037,590	▲ 49,810	99.0
3 地域支援事業費	202,949	197,890	5,059	102.6
4 財政安定化基金拠出金	1	1	0	100.0
5 基金積立金	505	455	50	111.0
6 諸支出金	1,502	1,502	0	100.0
7 予備費	1,000	1,000	0	100.0
<b>歳 出 合 計</b>	<b>5,266,800</b>	<b>5,300,600</b>	<b>▲ 33,800</b>	<b>99.4</b>



## 2 予 算 額(サービス事業勘定)

(総 額)

(単位:千円、%)

令和3年度当初 (A)	令和2年度当初 (B)	増 減 額 (A) - (B)	対前年度比 (A) / (B)
115,200	110,600	4,600	104.2

(歳 入)

(単位:千円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減額	前年比
1 介護予防給付サービス収入	16,651	16,393	258	101.6
2 介護予防・日常生活支援総合事業収入	9,752	10,011	▲ 259	97.4
3 繰入金	88,797	84,165	4,632	105.5
諸収入	0	31	▲ 31	皆減
<b>歳 入 合 計</b>	<b>115,200</b>	<b>110,600</b>	<b>4,600</b>	<b>104.2</b>

(歳 出)

(単位:千円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減額	前年比
1 介護予防給付サービス事業費	109,020	105,335	3,685	103.5
2 介護予防・日常生活支援総合事業費	6,180	5,265	915	117.4
<b>歳 出 合 計</b>	<b>115,200</b>	<b>110,600</b>	<b>4,600</b>	<b>104.2</b>

## 3 主 な 事 業

★印は新規事業

(単位:千円)

項 目	内 容	予 算 額
<b>【保険事業勘定】</b>		
★ 総務費	医療と介護の一体的な取り組みにより健康寿命の延伸を図るため、ヘルスケア適正化システムを導入する。また、自立支援・重度化防止のため事業者と連携し、介護給付費適正化事業を行う。	10,500
保険給付費	要介護(要支援)認定者が介護保険サービスを利用したときに介護保険から支給される給付費	4,987,780
介護予防・生活支援サービス事業費	現行の介護予防訪問介護、介護予防通所介護に相当するサービスのほか、緩和した基準によるサービス等により、要支援者等への介護予防・生活支援サービスを行う。	75,618
一般介護予防事業	いきいき100歳体操など住民主体の通いの場を充実し、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進する。さらに、いき100関係・KDBデータなどによる施策の効果検証を行い、地域課題を整理し、健康寿命の延伸の実現に向けた医療介護一体化ヘルスケア事業を推進する。	14,958
認知症施策推進事業	認知症の早期発見・早期対応のための関係機関との連携強化や認知症の方が集える認知症カフェやチームオレンジの推進に取り組む。	6,456
<b>【サービス事業勘定】</b>		
介護予防給付ケアマネジメントサービス事業	介護予防給付サービス及び総合事業サービスを利用する要支援者について、心身の状況や置かれている環境等に基づいたケアプラン作成を行う。	109,020

# 産地直売所事業特別会計

## 1 概 要

商業の活性化による地域活力の回復及び増進を図るため、地場で生産された農林水産物等の販路拡大を通じて、消費者ニーズに的確に対応することを設置目的とする。  
平成26年度から指定管理者制度を導入し、指定管理者(淡路市商工会)の管理運営のもと、更なる集客に努め、津名一宮インター周辺の好立地条件を活かし、令和3年度についても継続して地域活性化に努める。

## 2 予 算 額

(総 額)

(単位:千円、%)

令和3年度当初 (A)	令和2年度当初 (B)	増 減 額 (A) - (B)	対前年度比 (A) / (B)
16,030	16,030	0	100.0

(歳 入)

(単位:千円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減額	前年比
1 使用料及び手数料	10	10	0	100.0
2 財産収入	18	18	0	100.0
3 繰越金	1	1	0	100.0
4 繰入金	1	1	0	100.0
5 諸収入	16,000	16,000	0	100.0
<b>歳 入 合 計</b>	<b>16,030</b>	<b>16,030</b>	<b>0</b>	<b>100.0</b>

(歳 出)

(単位:千円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減額	前年比
1 産地直売所事業費	7,136	8,618	▲ 1,482	82.8
2 公債費	6,836	6,836	0	100.0
3 基金積立金	2,058	576	1,482	357.3
<b>歳 出 合 計</b>	<b>16,030</b>	<b>16,030</b>	<b>0</b>	<b>100.0</b>

## 3 主 な 事 業

★印は新規事業

(単位:千円)

項 目	内 容	予 算 額
工事請負費	空調設備修繕工事	3,100

## 4 その他参考事項

### ○ 施設概要

施設名称	津名産地直売所（産直淡路島「赤い屋根」）	
建物構造	鉄骨構造平屋建1棟 外壁、屋根スレート	
延床面積	1,395.6 m <sup>2</sup>	
総売場面積	1,012.0 m <sup>2</sup>	
売場面積	1,012.0 m <sup>2</sup>	令和3年1月1日現在
入店舗数	6 店舗	令和3年1月1日現在
開設年月日	平成10年10月10日	

### ○ 利用状況

	来場者数	バス乗込台数	
平成10年度	160,261 人	1,492 台	10月～半期
平成15年度	131,296 人	766 台	
平成20年度	184,773 人	986 台	
平成22年度	271,106 人	1,307 台	
平成23年度	268,642 人	1,180 台	
平成24年度	292,353 人	1,164 台	
平成25年度	286,468 人	990 台	
平成26年度	353,147 人	1,226 台	
平成27年度	340,161 人	992 台	
平成28年度	320,417 人	915 台	
平成29年度	321,332 人	802 台	
平成30年度	320,515 人	791 台	
令和元年度	293,834 人	729 台	
令和2年度	220,000 人	100 台	

※来場者数は、「海鮮料理きとら」の来場者数を除いた人数

# 温泉事業特別会計

## 1 概 要

昭和44年に岩屋大和島付近に泉源を開発し、旅館・民宿業者、一般家庭等99件(令和3年1月1日現在)に給湯を行っている。  
給湯区域は、岩屋の田ノ代から松帆までの海拔概ね30m以下の区域となっている。

## 2 予 算 額

(総 額)

(単位:千円、%)

令和3年度当初 (A)	令和2年度当初 (B)	増 減 額 (A) - (B)	対 前 年 度 比 (A) / (B)
3,400	3,400	0	100.0

(歳 入)

(単位:千円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減額	前年比
1 分担金及び負担金	1	1	0	100.0
2 使用料及び手数料	2,906	3,362	▲ 456	86.4
3 財産収入	29	35	▲ 6	82.9
4 繰入金	463	1	462	46300.0
5 繰越金	1	1	0	100.0
<b>歳 入 合 計</b>	<b>3,400</b>	<b>3,400</b>	<b>0</b>	<b>100.0</b>

(歳 出)

(単位:千円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減額	前年比
1 温泉事業費	3,400	3,400	0	100.0
<b>歳 出 合 計</b>	<b>3,400</b>	<b>3,400</b>	<b>0</b>	<b>100.0</b>

## 3 主 な 事 業

★印は新規事業

(単位:千円)

項 目	内 容	予 算 額
	特になし	

# 津名港ターミナル事業特別会計

## 1. 概 要

港湾施設の適正かつ効率的な利用及び市の恒久的な発展の基軸とされる公共交通体系等の整備において、その要衝として更なる充実を図り、津名港ターミナル利用者の利便性向上を図ることを目的とする。

利用者の利便性及び安全性の向上を図るために、老朽化が進む施設の整備を行うとともに、清潔で利用しやすく、プレジャーボート等の船舶の係留機能や海洋レジャー機能を備えた「津名港ターミナル」として、利用促進を図る。

## 2 予 算 額

(総 額)

(単位:千円、%)

令和3年度当初 (A)	令和2年度当初 (B)	増 減 額 (A) - (B)	対前年度比 (A) / (B)
20,900	21,600	▲ 700	96.8

(歳 入)

(単位:千円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減額	前年比
1 使用料及び手数料	4,656	9,291	▲ 4,635	50.1
2 県支出金	1,400	1,400	0	100.0
3 繰入金	10,867	6,026	4,841	180.3
4 繰越金	1	1	0	100.0
5 諸収入	3,976	4,882	▲ 906	81.4
<b>歳 入 合 計</b>	<b>20,900</b>	<b>21,600</b>	<b>▲ 700</b>	<b>96.8</b>

(歳 出)

(単位:千円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減額	前年比
1 津名港ターミナル事業費	20,900	21,600	▲ 700	96.8
<b>歳 出 合 計</b>	<b>20,900</b>	<b>21,600</b>	<b>▲ 700</b>	<b>96.8</b>

## 3 主 な 事 業

★印は新規事業

(単位:千円)

項 目	内 容	予 算 額
工事請負費	防犯施設整備工事(防犯カメラ設置)	1,747

#### 4 その他参考事項

##### ○津名港ターミナルビル整備概要

- ・延床面積 986.4m<sup>2</sup>(一部2階)
- ・着工年月日 平成5年12月23日
- ・供用開始 平成6年9月4日

##### ○津名港ターミナルの機能

- ・神戸、大阪方面高速バス及び路線バス等の結節点
- ・待合ロビー、会議室、その他旅客サービス

##### ○津名港ターミナルビル占用利用者

- ・兵庫県洲本土木事務所
- ・株式会社クリハラント
- ・津名港ターミナル観光案内所

##### ○津名港ターミナル駐車場施設概要

- ・占用面積 5,501.00m<sup>2</sup>
- ・収容台数 150台

##### ○津名港ターミナル駐車場年度別利用状況と利用減少の要因

年度	通常利用	定期利用	使用料収入(円)	前年との差(円)	減少要因
H15	67,947	1,050	23,534,100	—	H12東浦BT整備、H13淡路エアポートライン休止、H13北淡IC駐車場整備
H16	48,913	933	17,472,900	△ 6,061,200	
H17	41,459	823	14,906,700	△ 2,566,200	東浦BT及び北淡ICの便数等利便性向上
H18	35,269	663	12,569,700	△ 2,337,000	津名舞子線の運行開始による津名港周辺の高速バス停利便向上
H19	30,916	735	11,479,800	△ 1,089,900	
H20	27,800	552	9,996,000	△ 1,483,800	津名港隣接無料駐車場への移行
H21	23,160	615	8,793,000	△ 1,203,000	ETC休日割引、通勤割引等の影響
H22	21,219	563	8,054,700	△ 738,300	
H23	20,246	675	8,098,800	44,100	
H24	19,998	477	7,430,400	△ 668,400	
H25	18,936	511	7,213,300	△ 217,100	
H26	16,720	503	6,562,280	△ 651,020	
H27	16,801	443	6,404,740	△ 157,540	
H28	15,682	388	5,899,640	△ 505,100	
H29	15,120	342	5,589,360	△ 310,280	
H30	14,681	360	5,513,100	△ 76,260	
R1	14,030	343	5,277,640	△ 235,460	新型コロナウイルス感染症の影響
R2見込	6,023	234	2,541,660	△ 2,735,980	

# 住宅用地造成事業等特別会計

## 1 概 要

鵜崎台団地に係る宅地分譲地の管理・販売促進等により、定住化や地域の活性化を図ることを目的とする。

## 2 予 算 額

(総 額)

(単位:千円、%)

令和3年度当初 (A)	令和2年度当初 (B)	増 減 額 (A) - (B)	対前年度比 (A) / (B)
4,600	4,600	0	100.0

(歳 入)

(単位:千円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減額	前年比
1 財産収入	4,598	4,598	0	100.0
2 繰入金	1	1	0	100.0
3 繰越金	1	1	0	100.0
歳 入 合 計	4,600	4,600	0	100.0

(歳 出)

(単位:千円、%)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減額	前年比
1 事業費	4,600	4,600	0	100.0
歳 出 合 計	4,600	4,600	0	100.0

## 3 主 な 事 業

★印は新規事業

(単位:千円)

項 目	内 容	予 算 額
1 未売却分譲地維持管理費	草刈清掃業務委託、修繕等の維持管理経費	932
2 未売却分譲地販売促進費	分譲地PR広告料等	522
3 分譲地譲渡仲介手数料	販売促進に係る情報提供者への仲介手数料	190
4 一般会計繰出金	一般会計繰出金	2,956

## 4 その他参考事項

未売却分譲地:鵜崎台団地3区画

※令和3年1月末現在